

# 池田正之教授 経歴及び研究業績



## 経歴

- 一九四六年六月七日 大分県下関市に生まれる
- 一九六五年三月 私立麻布学園高等学校卒業
- 一九七〇年三月 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、  
同年四月、日本放送協会（NHK）入局
- 一九七〇年七月 大阪局報道部赴任、ニュース取材や報道番組担当
- 一九七四年七月 横浜放送局放送部赴任、ニュース取材や報道番組担当
- 一九七七年七月 国際局報道部赴任、海外向けニュースや番組制作を担当
- 一九八〇年八月 フルブライト交換ジャーナリストとしてハーバード大学留学。（ニーマン・フェローとしてアメリカの北東アジア政策を学ぶ）
- 一九八一年八月 職場復帰、海外向けニュースや番組制作を担当
- 一九八八年七月 神戸放送局赴任、ニュースデスク担当
- 一九九〇年七月 NHK情報ネットワークに出向。海外発信英語ニュース“Today's Japan”や、ワールドニュース、“BSO”など国内外向け衛星放送の報道番組デスクを担当

一九九五年七月 国際放送局復帰。国際テレビニュース番組デスク担当

一九九八年九月 NHK放送文化研究所に赴任。メディア情報（後にメディア経営部）の主任研究員としてアメリカのメディア動向を中心に調査、研究を行う

二〇〇六年三月 放送文化研究所を定年退職。（一九九六年以降、玉川学園、東京工芸大学、東洋大学、駿河台大学等で、非常勤講師として「国際関係論」、「放送メディア論」「情報メディア

論」等を講義）

二〇〇六年四月 札幌大学文化学部文化学科准教授

二〇一〇年四月 札幌大学文化学部文化学科教授

## 研究業績

### 著書

『現代の国際関係とマスメディア』（分担執筆） 玉川大学出版部 一九九七年四月

『緊急報告 米同時多発テロとメディア』（分担執筆） NHK放送文化研究所 二〇〇一年十一月

『検証一年 米同時多発テロとメディア』（分担執筆） NHK放送文化研究所 二〇〇二年一月

『テレビを超えるテレビ 世界のデジタル放送』（分担執筆と編集） NHK出版 二〇〇三年四月

『データブック世界の放送』（一九九九年版～二〇〇五年版）（分担執筆と編集）

NHK放送文化研究所 毎年三月刊行

『マスメディアと国際政治』（分担執筆）

南窓社

二〇〇六年一月

『放送論』（分担執筆と編集）

学文社

二〇〇九年三月

『新版 概説コミュニケーション』（分担執筆）

学文社

二〇一〇年三月

『東日本大震災以降の日本社会を考える』（分担執筆）

札大生協出版

二〇一二年三月

## 論文

米地上デジタル放送開始四カ月の現状

NHK放送文化研究所・放送研究と調査

一九九九年四月

双方向テレビの可能性 欧米のデジタル化動向二〇〇一（分担執筆）

NHK放送文化研究所・放送研究と調査

二〇〇一年八月

米デジタルラジオ放送の動向と車市場での衛星波と地上波の戦い

NHK放送文化研究所・放送研究と調査

二〇〇四年四月

漂流するアメリカのメディア所有規制と規模の経済の追及か、多様性の確保か

NHK放送文化研究所年報二〇〇五

二〇〇五年三月

ハリケーン・カトリーナを米メディアはどう伝えたかNHK放送文化研究所・放送研究と調査

二〇〇五年十二月

漂流するアメリカのメディア所有規制

日本新聞協会「通信・放送メディアの将来像と

法制度に関する研究会」年報

二〇一一年四月

講演

在韓米地上軍撤退の波紋

ポストン・フルブライト委員会

一九八〇年十二月十四日

等身大の日本をいかに伝えるか

花巻ユネスコ委員会

一九九一年十一月二八日

テレビ発信番組の意味

玉川学園大学

一九九九年九月十三日

米放送デジタル化の歩み

電通

一九九九年四月二七日

米同時多発テロの情報インフラへの影響と対応

NHK放送文化研究所シンポジウム

二〇〇二年三月二五日

NAB2003に見る米地上放送の動向

NHK放送文化研究所シンポジウム

二〇〇三年四月二三日

韓国 揺れるデジタル放送方式と移動体向け放送への期待

NHK放送文化研究所シンポジウム

二〇〇四年三月十六日

アメリカのメディア所有規制の動向

日本新聞協会

二〇一〇年二月二六日

メディアは東日本大震災をどう伝えたのか

札幌大学公開講座

二〇一二年一月十八日